

学会記事

§ 2014 年度春季大会報告

1. 2014 年度春季大会は 3 月 29 日 (土) に茨城県筑波大学において盛会裏に行われた。前日の 28 日 (金) には、編集委員会、産学交流促進委員会、国際交流委員会、将来構想委員会、若手幹事会、選考代議員会、理事会が、当日には一般講演、学会賞選考委員会、評議員会、常務理事会、総会、ランチョンセミナー、優秀発表賞授与式が行われた。(大会委員長 内藤充会員、一般講演 55 題、参加者 180 名)

2. 理事会・評議員会および総会で報告、決定された主な事項は以下のとおりである。

(1) 大会関係

○2014 年度秋季大会は、鹿児島大学において 9 月 27～28 日に開催される予定である。

(2) 賞関係

○平成 25 年度日本家禽学会技術賞は、松下浩一会員 (山梨県畜産試験場)、対象業績「地域ニーズに対応した鶏肉・鶏卵生産技術の開発」に授与された。

○審査員の評価に基づいて常務理事会で審議した結果、2014 年度春季大会では、第 1 会場：中島友紀会員「ニワトリ生殖巣生殖細胞における胚発生に伴う遺伝子発現の変動解析」、第 2 会場：牧野良輔会員「トリプトファン過剰添加飼料を給与したニワトリにおける血中トリプトファン濃度と糖化トリプトファン化合物濃度の経時的変化」および神園巴美会員「プトキシブチルアルコールはプロイラーの骨格筋タンパク質代謝に影響して成長を促進する」にそれぞれ授与することが決定され、総会終了後に授与式が執り行われた。

○平成 26 年度日本家禽学会賞および奨励賞には、学会賞候補者に 2 件の推薦があった。現在、選考委員会において審査中である。

(3) 日本農学会関係

○平成 26 年度日本農学賞に本学会から推薦した内藤充会員、対象業績「鳥類における発生工学技術の開発と遺伝子操作・遺伝資源保存への展開に関する先駆的研究」が受賞した。

○平成 26 年度日本農学大会の開催 平成 26 年 4 月 5 日 (土) 東京大学山上会館で開催された。また、平成 26 年度日本農学会シンポジウムは平成 26 年 10 月 4 日 (土) 東京大学弥生講堂において「ここまで進んだ！飛躍する農学」というテーマで開催される。

(4) 日本学術会議関係

○第 2 2 期日本学術会議畜産学分会から協力依頼があれば対応することとした。

(5) 産学交流促進委員会関係

○平成 25 年 9 月 7 日 (土) に公開シンポジウム「今、養鶏業界で何が問題となっているか？—産官学の各視点から—」を開催した。

○賛助会員の企業案内等の配架を継続して行った。

○平成 26 年 9 月 27 日 (土) に公開シンポジウム「産官学連携による肉用鶏産業の活性化—鹿児島島の事例— (仮題)」を開催する予定である。

(6) 日本家禽学会将来構想委員会関係

新会長からの諮問を検討こととした。

(7) 国際交流委員会関係

世界家禽学会への日本支部ニュースを提供する。第 10 回アジア太平洋家禽学会 (APPC) (2014 年 10 月 19～23 日) 韓国大会へ参加する若手研究者への旅費支援対象者を決定して支援する。その他国際交流事業の検討を行う。

(8) 若手研究会関係

○平成 26 年度春季大会でランチョンセミナー「題名：「多機能性糖質トレハロースのご紹介～食品から飼料まで～」」を開催した (出席者 約 60 名)。

○平成 26 年度秋季大会で若手企画による研究会を開催する予定である。

(9) 家禽学用語集編集委員会関係

家禽学用語集第 1 版を編集して学会ホームページに掲載した。

(10) 会員の移動

平成 26 年 2 月 28 日現在の会員状況

(平成 25 年 2 月末日からの増減)

名誉会員	11 名 (+1)
A 会員	143 名 (+6 -16)
B 会員	198 名 (+15 -23)
A 学生会員	10 名 (+1 -4)
B 学生会員	50 名 (+19 -22)
合計	412 名 (+42 -65)
A 賛助会員	24 社 (-2)
B 賛助会員	11 社 (-1)
賛助会員合計	35 社 (-3)
総計	447 (+42 -68)

(11) 選考代議員選挙結果

投票総数 140 (投票率 21%)

選考代議員会の構成 (13名)

○会長(議長) 豊水正昭

○地域の代表 11名

喜多一美(北海道・東北)、小川博、佐藤幹、田島淳史、村上斉(関東)、小野珠乙、木野勝敏、村井篤嗣(中部)、龍田健(近畿)、吉村幸則(中国・四国)、古瀬充宏(九州)

○常務理事 1名 菫澤圭二郎(会長指名により選出)

日本家禽学会役員(2014-2015年度)が以下のように決定された。

会長：小野珠乙

副会長：高橋和昭、中川二郎

常務理事：佐藤幹、桑山岳人(庶務)、田上貴寛、菫澤圭二郎(会計)、大久保武、古田洋樹(編集)

理事：岡田徹、喜多一美、小川博、田島淳史、吉村幸則、木野勝敏、村井篤嗣、龍田健、古瀬充宏

監事：半澤恵、村上斉、豊水正昭

評議員：東善行、力丸宗弘、太田能之、大津晴彦、甲斐藏、後藤尚也、佐々木啓介、菅原邦生、對馬宣道、内藤充、坂恒豊、横山次郎、米田勝紀、脇雅之、池谷守司、鏡味裕、神勝紀、笹浪知宏、杉山穂恵、立川昌子、中村明弘、榛澤章三、平松浩二、藤村忍、松下浩一、松田洋一、森誠、吉村崇、巽俊彰、八田一、本田和久、河上眞一、斉藤昇、橘哲也、都築政起、長坂直比路、西堀正英、豊後貴嗣、芦沢幸二、大塚彰、岡本新、仁木隆博、後藤直樹

編集委員長：田島淳史

WPSA 日本支部セクレタリー：後藤直樹

WPSA 日本支部カウンセラー：

2008-2016年 小野珠乙、豊水正昭、森誠

2012-2020年 古瀬充宏、田島淳史、後藤直樹

(12) 規約の改正

新会員制度(シニア会員、外国人特別会員)の発足に伴い、規約と細則の改正が議論され、承認された。

(13) 広報委員会の設置

新会員制度を含めた会員拡大に向けた取り組みのため、HP管理を中心とした広報委員会を新たに立ち上げることが決定された。非常置委員会として、2年間の設置が認められた。委員長は吉村幸則会員、委員は河上眞一会員および奥村友美会員の計3名で発足させることとなった。

(14) 編集関係

○The Journal of Poultry Science 誌第50巻2号～第51巻1号、日本家禽学会誌50巻J1・J2号、ニュースレター12・13号、講演要旨2冊(春季大会号・秋季大会号)を発行した。

○Journal of Poultry Science の2012年インパクトファクターが公開された(IF=0.684)

(15) 会計関係

○平成25年度の一般会計の決算報告書が承認された。また、平成25年度の国際家禽会議記念基金特別会計および西川畜産奨学特別会計の決算報告書がともに承認された。

○平成25年度の一般会計および特別会計決算書の収入および支出の細目について勘定明細書、預金帳簿残高、など照合のうえ監査を行った結果、いずれも適正に運用されており、法的にも問題のないことが監事から報告された。

○平成26年度の一般会計予算案および平成26年度国際家禽会議記念基金特別会計予算案および西川畜産奨学特別会計予算案が、審議の結果原案どおり承認された。

○科研費補助金(研究成果公開促進費)「学術刊行物」に関して、平成27年度までの交付が内定しており、平成25年度科研費が交付された。平成25年度以降の科研費申請(新規)については対象が国際情報発信力強化になり、募集方式が変更され、対応を検討することとした。

§ 2015年度日本家禽学会賞および同奨励賞候補者の募集について

2015年度両賞の受賞候補者推薦を募集します。締め切りは2014年12月31日(水)で、期日までに選考規程を参照して候補者の推薦をお願いします。なお、奨励賞については2015年4月1日現在において、満40歳以下の方が対象となります。

§ 日本家禽学会技術賞候補者の募集について

日本家禽学会技術賞候補者の推薦を受け付けておりますので、奮ってご推薦下さい。なお、技術賞の受賞の対象は、日本家禽学会細則第3条の(4)により、「家禽産業の発展に寄与する新技術を開発した者あるいは新技術および新発想を積極的に経営に導入し成果を上げている者」となっております。推薦者は日本家禽学会の会員に限りますが、候補者はこの限りではありません。

推薦時に必要な書類：

①候補者(団体の場合は代表者)の氏名、生年月日および所属、候補者の略歴(表彰歴を含む)(団体の場合は団体名および設立年月日)、推薦者の氏名および所属を示すもの。

②業績概要(2,000字以内)

③業績内容を示す資料：研究業績(別刷)、経営資料、特

許、実用新案、公刊図書など。(別刷またはコピーを7部添付。ただし、業績が5編を越える場合は主要なもの5編の別刷りまたはコピーで可。)

候補者推薦の締切：2014年7月31日(木)

(当日消印有効)

書類の送付先：

〒305-0901 茨城県つくば市池の台2
畜産草地研究所内 日本家禽学会事務局

§ 日本農学賞受賞候補者の推薦について

日本農学会から平成27年度の日本農学賞受賞候補者の推薦依頼がある予定である。下記の要領によりご推薦下さい。

提出書類：

- 1) 推薦書：候補業績、候補者氏名、所属および職名、候補者略歴(生年月日、学歴、職歴)、推薦理由
- 2) 業績概要：業績題目、所属、図表および主要研究業績
詳しくは日本農学会ホームページ <http://www.ajass.jp/>を参照して下さい。

締 切：2014年8月31日(日) 必着

提出先：日本家禽学会事務局

§ (財) 農学会農学進歩賞候補者の推薦について

人類と多様な生態系が永続的に共生するための基盤である農林水産業およびその関連産業の発展に資するために、農学の進歩に顕著な貢献をした者に対し、標記の賞が

授与される。受賞対象者は当該年度の10月1日時点で40歳未満の者となっている。農学進歩賞には、大学の学部長、研究機関の長、あるいは農学系学協会の長が毎年1名に限り推薦できることとなっている。日本家禽学会長の推薦を必要とする方は、6月30日(月)までに必要書類を日本家禽学会事務局に提出して下さい。日本家禽学会常務理事会、理事会等で審査を行い、推薦の可否を決定する。詳しくは(財)農学会のホームページ <http://www.nougaku.jp/>を参照して下さい。

§ 第10回アジア太平洋家禽会議(韓国済州道大会)

参加若手会員への渡航費用の一部補助について

日本家禽学会では、2014年10月19日～10月23日に大韓民国の済州道で開催される第10回アジア太平洋家禽会議に参加する若手会員に対して、その参加経費の一部を補助いたします。

公募者数：5名以内

補助金額：1人あたり5万円

提出書類：第10回アジア太平洋家禽会議(韓国済州道大会)参加若手会員渡航費用補助申請書。

締 切：2014年6月2日(月) 必着

提 出 先：日本家禽学会事務局

詳しくは学会ホームページ <http://jpn-psa.jp/>を参照して下さい。